

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-公演団体一覧【Eブロック】
【C区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目/企画	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
D・E・F	演劇	児童劇	劇団うりんこ	○	○	○	○	ともだちや ーあいつもともだちー	「ともだちや ーあいつもともだちー」 原作:内田麟太郎 (「ともだちや」「あいつもともだち」「ともだちごっこ」借成社) 脚本・演出:佃 典彦(B級遊撃隊) 美術:青木拓也 衣装:木場絵里香 音楽:内田アダチ 音響:椎名KANS 振付:下出祐子	
D・E	演劇	児童劇	劇団風の子	○	○	○	-	みて、さわって、あそべる、ソノヒカギリ美術館OPEN!!	「ソノヒカギリ美術館」 原案/村井昌世 作/ソノヒカギリ美術館製作委員会 構成・演出/大洞弘幸 美術/ナカムラジン 身体表現/若林こうじ 音楽/青柳拓次 制作/浅野井優子	

【A区分・B区分団体】

E	音楽	合唱	東京混声合唱団	○	○	○	○	心に響く合唱	〈小学校・中学校共通〉 校歌演奏／萬歳流し(柴田南雄)／各校選択曲または「サウンド・オブ・ミュージック」等 (小学校) ハレルヤ(ヘンデル)／となりのトロ(久石譲)、翼をください(村井邦彦)等 (中学校) アヴェ・ヴェルム・コルプス(モーツァルト)、夕焼小焼、Joyful Joyful(ゴスペル)等	
E	音楽	オーケストラ等	中部フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	「体感オーケストラ！体育館が劇場に変身！」	●J・ウィリアムズ:映画「スター・ウォーズ」より“メインタイトル” ●楽器紹介:『きらきら星変奏曲』 ●ハルトーワ:ルーマニア民俗舞曲(弦楽合奏版) ●ビゼー:組曲「アルルの女」から“ファントール” ●グリーク:組曲「ペール・ギュント」より“朝” ●【子供との共演】ラヴェル作曲「ボレロ」によるボディパーカッション ●【あなたもマエストロ！】ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章より ●チャイコフスキー:交響曲第4番へ短調 作品36 より“第4楽章” ●各学校校歌 等	
E	音楽	オーケストラ等	東京交響楽団	○	○	○	○	オーケストラがあなたのまちにやってくる！ →東京交響楽団地域巡回演奏会←	【第1部】 スメタナ:歌劇『売られた花嫁』序曲、小室昌広:「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」(ナレーション付き)、協奏曲(モンティ:チャールダーシュ、モーツァルト:ファゴット協奏曲など) 【第2部】 ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」から第1楽章 【★指揮者体験】ヒゼー:歌劇『カルメン』より前奏曲 【★生徒との共演】訪問校校歌(オーケストラ編曲版)、外山健三:管弦楽のためのラプソディ、アンコール)久石譲:君をのせて(映画『天空の城ラピュタ』より) 等	
E	音楽	オーケストラ等	Osaka Shion Wind Orchestra	○	○	○	○	吹奏楽って何だろう？～管楽器・打楽器の特徴と役割から音階のお話まで～鑑賞から楽しく学び取ろう！【小学生(低学年・中学年)向けおよび、小学生(高学年)・中学生向け】	【小学生(低学年・中学年)向け】 1.組曲「惑星」より ジュピター-讃歌/G.ホルスト(J.デメイ編) 等 【小学生(高学年)・中学生向け】 1.歌劇「サムソンとデリラ」からバツカナル/C.サン＝サーンス(L.D.スタイガー編) 等 【共通】 2.歌劇「カルメン」より前奏曲/G.ビゼー(高昌帥 編) 3.宝島/和泉宏隆(真島俊夫 編) 4.アンコール:東京オリンピックマーチ/古閑裕而または校歌 等	
E	演劇	児童劇	オペレッタ劇団としび	○	○	○	○	「トラの恩がえし」	オペレッタ「トラの恩がえし」 原作 韓国・朝鮮民話 音楽:リ・ジエホ+韓国・朝鮮の伝統音楽から 脚本:中西明+韓国・朝鮮と日本チーム 演出:大野幸則+韓国・朝鮮と日本チーム 美術:内山勉 新井真紀	
E	演劇	児童劇	劇団風の子	○	○	○	-	“一回しかない子ども時代を子どもらしく生きる”「スクラム★ガッシン 準備完了！第2号計画「ダッシュ」	「スクラム★ガッシン 準備完了！第2号計画「ダッシュ」」 作・脚本／田中つとむ 演出／中島 研 音楽・効果／曲尾友亮 美術／浅野井優子・風の子大道具プロジェクトチーム 制作／大森靖枝	
E	演劇	演劇	かわせみ座	○	○	○	○	構造・操作法も世界唯一の人形達を造った、独創的で優れた本物のマリオンネット表現をどうぞ	「まほろばのこだま」 作・原案／山本由也・益村泉 人形美術・舞台美術／山本由也 構成・演出／高畑勲(アニメーション映画監督)	
E	演劇	ミュージカル	オペラシアターこんにやく座	○	○	○	-	オペラ『ロはロボットのロ』	オペラ『ロはロボットのロ』 作曲:萩京子 台本:鄭義信 演出:鄭義信／振付:伊藤多恵	
E	舞踊	バレエ	東京シティ・バレエ団	○	○	○	○	ようこそ、バレエ「コッペリア」の世界へ	第1部「バレエってなあに？～バレエを楽しもう！～」 第2部「コッペリア」より(コッペリアの仕事部屋) 第3部「コッペリア」より(鐘の祭り) ■作曲:レオ・ドリーブ ■原作:ホフマン ■原台本:ニユイテル サン・レオン ■原振付:サン・レオン ■演出・振付:石井清子	R2 (継続)
E	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般社団法人 金剛会	○	○	○	○	みんなで体験・共演してみよう「能・狂言」	■狂言「柿山伏」 ■能「鞍馬天狗」	
E	伝統芸能	歌舞伎・能楽	万作の会	-	○	○	○	日本の伝統芸能「狂言」を楽しもう ～体験と鑑賞～	■狂言「盆山」 ■狂言「附子」 【共演体験】 狂言「蛭牛」より囃子音楽の掛け合いの場面	
E	伝統芸能	邦楽	特定非営利活動法人日本音楽集団	○	○	○	-	『ごんぎつね』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～	●宮崎駿アニメ「ゲドロー」(秋岸寛久編曲) ●○「日本の楽師たち」(古典作品)/六段の調、鹿の通音、春の海、那須の与一、幕間三重・獅子狂い五段 ●「子どものための組曲」(森田大介作品) ●「ごんぎつね」～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～(作:新美南吉、音楽:川崎純都夫、作詞:佐藤万里)※児童共演	
E	伝統芸能	演芸	有限会社 貞水企画室	○	○	○	○	一龍斎貞水プロデュース・「講談の世界」 (ワークショップ＝「講談教室」 本公演＝「講談〇〇亭」)	<ワークショップ> 軍談(修羅場よみ) 「三方ヶ原軍記」など、連続講談 「はろはろ天狗」「海賊退治」「宮本武蔵」など決闘シーン(立ち回り)のある読み物 <本公演> 二席の講談※いずれかに怪談物を入れる〇江戸と上方〇新作と古典など変化を付けて構成。※読み物は子供が登場する「越の海」など、決闘シーンが迫力の武芸物「荒木又右エ門」や「宮本武蔵」などいずれも児童生徒さんに親しみ易い読み物を口演。	
E	メディア芸術	メディアアート等	WOW	○	○	○	-	BAKERU ― デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 ―	BAKERUは東北に古くから伝わる4つの郷土芸能(なまはげ、早乙女、鹿踊、加勢鳥)をモチーフにした、体験型のデジタルアート作品です。スクリーンの前に立って順に体験用のお面をつける则自分の姿が変化し、それぞれの芸能の世界観で様々な体験ができます。現代的な視点と新しい表現を通して伝統文化に触れることで、その奥深さを広く知ってもらうことを目的にしています。 1日目【芸能実演とワークショップ】 2日目【デジタルアート体験】	

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策については、実施決定後に令和3年4月以降の状況及び令和3年度予算等を勘案し、文化庁(事務局)、実施団体、実施校間において、必要事項を検討・調整の上で実施予定です。このため、各企画の出演希望調書では通常規模の公演を想定した企画内容を記載しています。

※複数年度実施欄に「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から、「R3」の記載がある団体は令和3年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和2年度の情報を閲覧することができます。

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) ~~公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能~~
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしがいいしやげきだんうりんこ		
制作団体名	株式会社劇団うりんこ		
代表者職・氏名	代表取締役 児玉俊介		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒465-0018 愛知県名古屋市中東区八前一丁目 112 番地 (名古屋市交通局 市バス 宮根バス停)		
電話番号	052-772-1882	FAX番号	052-771-7868
ふりがな	げきだんうりんこ		
公演団体名	劇団うりんこ		
代表者職・氏名	代表 児玉俊介		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒465-0018 愛知県名古屋市中東区八前一丁目 112 番地 (名古屋市交通局 市バス 宮根バス停)		
制作団体 設立年月	1973 年 5 月		
制作団体 組織	役職員 代表取締役 児玉俊介 運営委員長 佐々木政司 事務局長 西尾ひろみ	団体構成員及び加入条件等 団体構成員 32 名 演技部 23 名、制作部 9 名 加入条件 一年間の付属演劇研究所卒業と入団試験での合格	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	西尾栄儀、西尾ひろみ
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	中村敬子

制作団体沿革	昭和４８年 劇団うりんこ創立。 昭和５１年 株式会社 劇団うりんこ設立。 昭和５４年 劇団うりんこ付属演劇研究所創立。 昭和５５年 名古屋市芸術奨励賞 団体賞受賞。 平成４年 愛知県芸術文化選賞受賞。 平成７年 (社)日本劇団協議会入会。 平成１３～１５年 文化庁芸術団体重点支援事業。 平成１８年 児童福祉文化賞「だってだってのおばあさん」 平成２３年 名古屋市文化振興事業団『第２７回 芸術創造賞』受賞 平成２４年 児童福祉文化賞「ぼくってヒーロー？」 平成２５年 児童福祉文化賞「ねむるまち」		
学校等における 公演実績	平成２９年度 合計８作品 ３３５回 「罪と罰」８回 「学校ウサギをつかまえろ」５９回 「名探偵!山田コタロウ」４９回 「ダイアル ア ゴーストー幽霊派遣会社」１９回 「ともだちやーあいつもともだち」６４回 「はぐれ峠のわらい鬼」３１回 「海彦と山彦」３６回 「夜明けの落語」６９回 平成３０年度 合計８作品 ３６７回 「罪と罰」６回 「ダイアル ア ゴーストー幽霊派遣会社」２４回 「夜明けの落語」６５回 「ともだちやーあいつもともだち」６６回 「名探偵! 山田コタロウ」５９回 「学校ウサギをつかまえろ」８４回 「はなのき村」６２回 「ドン・キホーテ」１回 平成３１年度(令和元年度) 合計１０作品 ３３６回 「罪と罰」５回 「ダイアル ア ゴーストー幽霊派遣会社」１７回 「夜明けの落語」６６回 「ともだちやーあいつもともだち」４６回 「なんちゃってヒーロー」３２回 「学校ウサギをつかまえろ」８１回 「きみがしらない ひみつの三人」３１回 「海彦と山彦」８回 「はなのき村」４９回 「ドン・キホーテ」１回		
特別支援学校に おける公演実績	愛知県立港特別支援学校 ２００８年 ７月 １１日 愛知県立安城特別支援学校 ２００９年 ２月 １８日 栃木県立那須特別支援学校 ２０１６年 １１月 １４日 (本事業) 愛知県立豊橋特別支援学校 ２０１８年 １１月 ２１日 (本事業) 愛知県豊田市立特別支援学校 ２０１９年 ７月 ５日		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

劇団うりんこ

】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生				
企画名	ともだちやーあいつもともだちー				
本公演演目	演目:「ともだちやーあいつもともだちー」				
原作/作曲 脚本/振付	原作:内田麟太郎(「ともだちや」「あいつもともだち」「ともだちごっこ」偕成社) 脚本・演出:佃 典彦(B級遊撃隊) 美術:青木拓也 衣装:木場絵里香 音楽:内田アダチ 音響:椎名 KANS 振付:下出祐子				
	公演時間(65分)				
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	【あらすじ】 一人ぼっちで寂しがりなキツネは、ある日「ともだちや」を始めました。一時間100円で「ともだち」になってあげる商売です。のぼりを立て大声で「え～、ともだちやで～す。寂しい人はいませんか～？ 友達、一時間100円で～す」と呼びかけます。でも、友達って買えるのかな？ 本当の友達って、どんなんだろう？ 友達と心がすれ違っちゃったら、どうしたらいいんだろう？ ちょっとの勇気で、友達が増えるって幸せだね。「ともだち」との様々な心のやり取りを描いた演劇です。 【みどころ】 長年、子どもたちに大人気の絵本「おれたち、ともだち」シリーズの劇化です。低学年も高学年にも共感できる「友達との関わり」を描いており、興味関心を持って楽しく鑑賞できる演劇です。3人の俳優が9役を演じ、友達をめぐる様々な感情や関係の変化を描きます。また、舞台美術の変化や音楽の効果で季節の移り変わりを表現し、観客の想像力を刺激します。キツネやオオカミ、クマ、テン、ヘビなどの動物は、絵本に描かれている姿を忠実に表現しており、見た目にも見応えある演劇です。				
演 目 選 択 理 由	「テンとけんかしちゃったけど、ごめんね、を自分で言えてたのが良かったなあ～」と思いました。」この劇を観て、友だちは自分の事をどう思っているのか、気になりました」これは、劇を観た児童の感想です。 友達とは、多くの喜びを共有し、苦しさや悲しみを分かち合う存在です。しかし、学校生活において人間関係のトラブルや、人間関係でのストレスを抱える事例も多くみられます。この演目には、子どもたちが日常やっている遊びや、感じていることがたくさん出てきます。友達と一緒に遊ぶ楽しさ、意地悪や、ヤキモチの気持ちも出てきます。低学年から高学年まで、幅広い年齢の児童にとって身近であり、興味深く鑑賞できる演目であることが選択の理由です。この「ともだちやーあいつもともだち」は、平成29年度厚生労働省社会保障審議会の児童福祉文化財特別推薦を受けています。				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	【共演の形態】 共演の児童生徒は、20人程度(4年生以上)を予定しています。 登場人物のキツネが、オオカミの助けを得てヘビと友達になり、木の精を囲み登場人物たちが歌い遊ぶ場面での共演です。俳優と一緒に「だるまさんがころんだ」をアレンジした遊び「だるまさんが〇〇した」で遊びます。〇〇の部分では即興的に身体表現を行います。台詞も児童のアイディアを活かしてつくり、上演校独自の共演場面を創作します。				

	【体験の形態】 上演後、バックステージツアーを実施します。限られた運搬量の演目でありながら、見栄え良い舞台装置にするための工夫や、衣裳の早替えの工夫や、俳優が演技をしながら音響の操作を行うための工夫などを見学してもらいます。 舞台裏見学を通して演劇への興味を多方向から持ってもらう事で、舞台芸術に対する興味関心を喚起し、将来の芸術家育成や鑑賞能力向上に寄与したいと考えています。		
出 演 者	佐々木政司、和田幸加、山内庸平		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 3 名 <u>ス タ ッ プ: 1 名</u> 合 計: 4 名	機 材 等 運搬方法	積載量 1.15t 車 長 4.99m 台 数 1 台

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(2 時間程度)					
	到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去/積込	退出
	9:30	9:30～11:30 /11:30～12:15	13:30～14:35	無	15:00～16:00	16:00
※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。						
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	1 クラス程度(40 名程度)				
	本公演	250 名以下				
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	【実施形態】 ①ワークショップの参加児童は、4 年生以上、1 クラス単位(40 名程度)を基本とします。 ②指導は、ワークショップ指導経験者が 2 名以上で行います。 ③共演場面の練習に限らず、“演劇的表現”を楽しむためのワークショップや、子どもたち相互のコミュニケーション力向上をはかる活動を実施します。 活動内容は、参加児童の学年や人数などによって調整します。 【実施内容】 ・実施決定後:ワークショップの内容、共演場面の内容に関しての詳細な案内を郵送します。 ・実施前の準備:共演場面の内容を漫画やイラストで書いた手紙を送ります。手紙を実施学級に掲示し、児童生徒に周知を図ってください。 【ワークショップ内容】 (導入)活動の目的と概要を伝えます。アイスブレイクのための活動(ジャンケンを使ったゲームなど)を行います。 (展開①)表現活動を行うための準備段階として、他者とのコミュニケーションを楽しむ活動を行います。想像を楽しむ活動と、小集団での創作活動(身体表現)、音楽と共に動きを楽しむ活動を行います。 (展開②)共演場面の内容を伝えます。遊びを発案する場面のセリフや、遊び場面での身体表現などを児童と共に考え、創作します。 (まとめ)共演児童を決定します。共演児童は、実際の舞台と同サイズにテーピングした場所を使い、参加共演場面を演じます。					
ワークショップ 実施形態の意図	・ 共演への期待と意欲を高めるために、事前に、共演場面の内容を漫画とイラストで書いた手紙を送ります ・ 鑑賞をより豊かな体験とするために、思いうかべる力(想像力)を使った身体表現活動を実施します。 ・ 小グループでの創作活動を行うことで、言語によるコミュニケーション(受信と発信)や他者との合意形成の体験をします。					

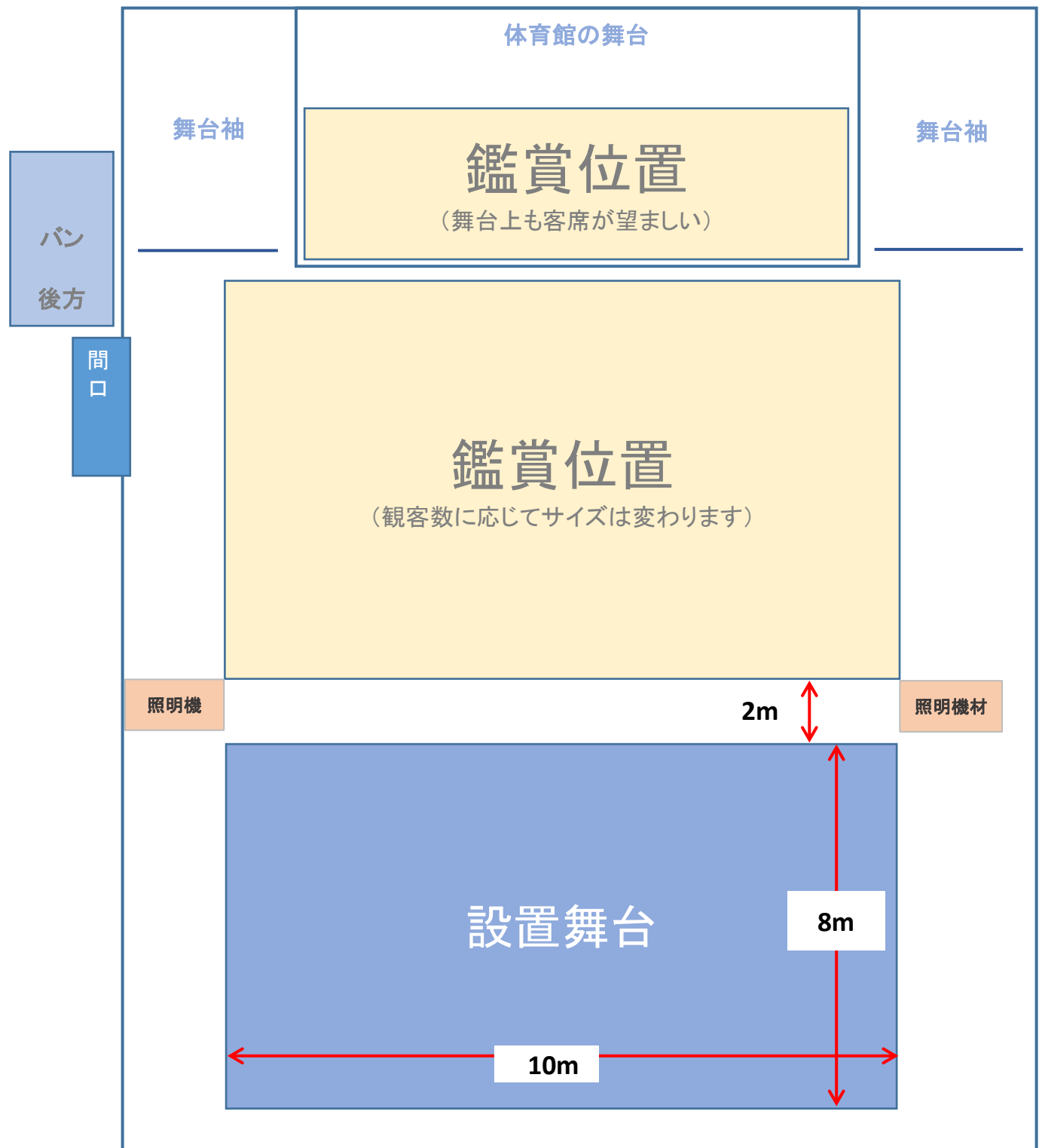
	・ 劇中で俳優と一緒に演じる体験を通して、鑑賞への期待を高めるとともに、共演する事への意欲を高めます。 ・ 児童がセリフを考えたり、共演場面の中に即興的な身体表現の部分を入れることで上演校独自のものをつくりあげ、児童の発想力を育みます。 ・ 自らのアイデアが共演場面の創作に活かされる体験を通し、自己肯定感や自信を育みます。 児童と劇団員(俳優)が共演し、一つの場面を共につくりあげる事は、協働の体験となり、本番を成功させたときの達成感は大きな成功体験となる事と考えます。 これらの内容は、すべての小学校において、特に変更なく実施することが可能です。
特別支援学校での実施における工夫点	特別支援学校においても、特に変更なく上演が可能です。 台詞や要約した物語などを、スライドで投影することが可能です(パソコンと、プロジェクター、スクリーンの用意は学校でお願いします)。 先生方と綿密に話し合い、必要に応じて共演内容などを工夫します。 児童が心身ともに安定した状態で鑑賞できるよう、また舞台をより身近に感じられるよう、上演の前後に出演俳優と触れ合う機会を設けるなど工夫をします。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	430	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	C区分
公演団体名	劇団うりんこ				制作団体名	株式会社 劇団うりんこ			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件		特になし			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *				バン		1台	
	可	来校する車両の内, 横づけが必要な車両の大きさ				1. 15t バン			
	可	搬入車両の横づけの要否 *				要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *				30m以内			
	可	搬入経路の最低条件				雨天時、屋根のある経路が望ましい。			
		理由				濡れたくない道具あり			
	可	設置階の制限 *				エレベーターの設置等があれば2階以上も可			
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8		高さ	1.8	
WSIについて	可	参加可能人数			40人まで				
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *		高学年	
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			客席として、ステージとフロアを使用できる場合250人程度まで				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10	奥行	8	高さ	4
	—			舞台袖スペースの確保 *					
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの条件 *					
	緞帳 *					バトン *			
	—								
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *			※指定位置は会場設置図面に御確認ください。		
	ピアノの事前調律 *								
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			20A		※主幹電源の必要容量		
		その他特記事項							



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要 横づけが望ましい			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
- (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
- (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
- (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ げきだんかぜのこ		
制作団体名	有限会社 劇団風の子		
代表者職・氏名	代表取締役 大瀬弘幸		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒192-0152 東京都八王子市美山町 1320-1 最寄り駅:高尾(JR、京王線) バス停:縄切(西東京バス)		
電話番号	042-652-1001	FAX番号	042-652-1013
ふりがな	げきだんかぜのこ		
公演団体名	劇団風の子		
代表者職・氏名	代表取締役 大瀬弘幸		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒192-0152 東京都八王子市美山町 1320-1 最寄り駅:高尾(JR、京王線) バス停:縄切(西東京バス)		
制作団体 設立年月	1950年 7月		
制作団体 組織	役員 代表取締役 大瀬弘幸 事務局長 高垣信子 制作部長 大森靖枝 創造部長 浅野井優子	団体構成員及び加入条件等 俳優 20 名、制作 11 名、文芸・演出 3 名 加入条件 ・劇団風の子国際児童演劇研究所卒業及び一定の経験者 ・18 歳以上の健康な方	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	吉野由起
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	西川恵美子

制作団体沿革	1950 年 7 月、子どもの為の専門劇団として創立。以来『子どものいるとどここへでも』を合言葉に、全国を巡演。 1983 年より全国に地域劇団風の子を発足させる。劇団風の子北海道、劇団風の子中部、劇団風の子関西、劇団風の子九州がそれぞれ法人独立し、現在「有限会社劇団風の子」は首都圏を拠点に活動している。		
学校等における公演実績	2019 年度公演実績 小学校公演:3 作品 237 公演 「スクラム☆ガッシン」82 ステージ、「ペコと秘密の樹」109 ステージ、「風の子バザール」46 ステージ 幼稚園・保育園・子ども劇場その他の公演:11 作品 677 公演 「まるさんかくしかく」203 ステージ、「ポロロンシアター」109 ステージ、「風の子バザール」129 ステージ、「風の一座」46 ステージ、「小さい劇場」42 ステージ、「とんからり」33 ステージ、「ソノヒカギリ美術館」32 ステージ、「ないしょないしょのしっぽがぼん」26 ステージ、「ペコと秘密の樹」16 ステージ、「黄金の実」16 ステージ、「スクラム☆ガッシン」25 ステージ		
特別支援学校における公演実績	東京都立南大沢学園、岡山県新見市健康の森学園、宮崎県日南市くろしお支援学校、福島県会津若松市特別支援学校、広島県庄原市特別支援学校、埼玉県日高市特別支援学校、静岡県伊豆の国市東部特別支援学校、青森県青森市青森県立青森若葉養護学校、北海道黒松内町北海道余市養護学校しりべし学園分校、北海道札幌市手稲養護学校		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公 演 ・ ワークショップの 内 容

【公演団体名 劇団風の子 】

対 象	小学生(低学年・ <u>低学年・中学年・高学年</u>)・中 学 生			
企画名	みて、さわって、あそべる、ソノヒカギリ美術館 OPEN!!			
本公演演目	「ソノヒカギリ美術館」 原案/村井昌世 作/ソノヒカギリ美術館製作委員会 構成・演出/大瀬弘幸 美術/ナカムラジン 身体表現/若林こうじ 音楽/青柳拓次 制作/浅野井優子			
	公演時間(60 分)			
著作権	☐	制作団体が 所有		制作団体以外が所有する事 項が含まれる (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	ソノヒカギリ美術館は言葉の通りその日一日限りの美術館です。子どもたちが美術館を訪れるお客さんという設定で、ストーリーはありますが、子どもたちと俳優が創り上げるその日ならではのライブ感のある体験型演劇です。 【あらすじ】 ソノキニ・ナールさんとソノバ・シノギさんはソノヒカギリ美術館の学芸員です。毎日あちらこちらで一日限りの美術館を開催しているのですが、今日はこの小学校の体育館でソノヒカギリ美術館を開くことになりました。校長先生から依頼のお電話をいただいたのです。 児童の皆さんがやってきました。あら大変、まだ準備中なのに！あわてて大きな箱を開けたり包みを解いたりする二人。そこに一人の子どもが迷い込んできました。名前はアキ。 アキは箱の上に乗ったり、包んであった大きな紙をガサガサしたり放り投げたりして遊び始め、ナールとシノギはちっとも仕事がはかどりません。展示された立派な美術作品さえもアキにとっては格好の遊び相手。ナールとシノギは何とか準備を進めようとしませんが、ついアキのペースに乗せられて二人も遊び始めてしまいます。 遊んでいるうちにシノギが額縁の中に閉じ込められて絵になってしまいました。アキとナールはどうしたらシノギを助け出すことができるでしょうか。ソノヒカギリ美術館は無事オープンできるのでしょうか！？			
演 目 選 択 理 由	「遊び」と「芸術」は子どもが豊かに育つために必要不可欠のものです。ソノヒカギリ美術館はこの二つの言葉をキーワードに舞台とアートがコラボレーションした体験型演劇です。 美術館は静かに絵や彫刻を鑑賞する場所というイメージを持つ人が多いと思いますが、ソノヒカギリ美術館は子どもたちの声が飛び交いとても賑やかです。絵に思い思いの題名を付けたり、ピクトグラム(非常口等に使用されている絵文字)をモチーフにした作品と一緒に作ったり、額縁を使った表現遊びなど、子どもたちの自由な想像力と創造力を引き出し、一人ひとりの発想を大事にし、違いを感じ認め合うことができる美術館なのです。 子どもたちが展示された美術作品と劇空間を楽しみ、そして自ら表現することも楽しみながら、お互いの存在そのものが唯一無二のアートであることを、理屈ではなく体感し共有することを願っています。			

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	①ワークショップで製作した児童の作品を舞台美術として展示させていただきます。公演の中盤で学芸員のシノギが額縁の中に閉じ込められ出られなくなってしまい、どうしたら出られるのか「絵に聞いてみる」場面で、俳優がその作品と会話をします。シノギが額縁から出られるヒントを子どもたちの作品が教えてくれるという設定で、その作品ならではの会話を俳優は即興で考えます。 ②公演の中盤でピクトグラム（非常口等に使用されている絵文字）を使って子どもたちに絵を作っていただきます。マグネットシートを切り出して作った色とりどりの様々な形のピクトグラムを用意しますので、ソーシャルディスタンスを保ちながら、それぞれ気に入ったものを選んでみんなで一枚のパネルに貼っていただきます。単純な形のピクトグラムがたくさん集まると思いがけない楽しい絵が出来上がります。担任の先生や校長先生に即興でタイトルを付けていただき出来上がりです。これも展示作品として飾ります。 ③公演の後半で大きな額縁を使って子どもたちに一枚の絵になっていただきます。密を避けるため4～5人ずつのグループに分かれ、額縁で切り取られた空間の中で、それぞれがタイトルやキーワードからイメージして身体や顔の表情で表現をする演劇的遊びです。 劇中で、シノギが展示するはずの絵を忘れてきてしまいとても落ち込みます。子どものアキは空っぽの額縁でその姿を切り取り、「しょんぼりシノギ」とタイトルをつけ絵にして面白がります。これを額縁を使った表現遊びに発展させて、演じる子どもたちも見る子どもたちも楽しめます。 ④公演の最後にいよいよソノヒカギリ美術館がオープンします。学年毎に作品を間近でゆっくり鑑賞しながら退場、出口にはピクトグラムと大きなパネルを新たに用意しておきますので、自由に遊んでから教室に戻ってください。		
出演者	菅原武人・宮澤衣路・藤本秀男（予定）		
公演出演予定者数 （1公演あたり）	出演者： 3名 スタッフ： 1名 合計： 4名	機材等 運搬方法	積載量 1t 車長 4.69m 台数 1台

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。										
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(2 時間 30 分程度)										
	到着	仕込み/ワークショ ップとリハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出					
	8:00	8:00～10:30/ 10:30～11:15 11:20～12:05	13:30～14:30	0 分	14:30～16:00	16:10					
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	①20 人 ③20 人 (全校生徒の人数による。少なければ全員も可能)									
	本公演	①20 人 ②20 人 ③20 人 ④全員 (最大観客数 150 人)									
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	事前に各学校に作品全体が分かる DVD、ワークショップの内容と目的、準備していただくもの等の明細をお送りします。各学校で参加学年を決めていただきます。②と④のワークショップはありません。 ①舞台美術として展示する作品を作ります。身近な素材(葉っぱや枝、石ころ、新聞紙やチラシ、ダンボールなど)を使い、一人ひとりの作品は簡単に単純な造形にして、それを並べたり重ねたりすることで全員の合同作品として力のある作品に仕上げます。 ③身体や顔の体操、表現遊びをし、次第に心も身体も開放していきます。その後グループに分かれて、額縁を使って切り取られた空間の中で絵になる表現をします。タイトルやキーワードからイメージした一人ひとりの発想と表現を大切にします。										
ワークショップ 実施形態の意図	ドラマの内容を観客も出演者も一緒にハラハラしたり応援したり、喜びを共有したりすることが、生の舞台の醍醐味です。今回は特に、子どもたちが作る作品や表現が本番の中で重要な役割を担っています。 一人ひとりの表現が他者の表現とつながり、重なり、呼応して、それが芝居の中で生きる喜びを体感してほしいと願っています。										
特別支援学校で の実施における 工夫点	①学校に子どもたちが作った作品があれば、それを工夫して展示させていただきます。 ②本番ではパネルとピクトグラムを客席の中に持っていき、先生に協力していただいてその場で貼りつけることができます。 ③こちらから額縁を客席に運び、その場で身体を動かすなど、それぞれの可能な表現の仕方で切り取りアートを皆で共有して楽しんでほしいです。 ④なるべく作品を近くで見ながら退場できるよう、先生方に協力していただきます。										
実 施 可 能 時 期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。										

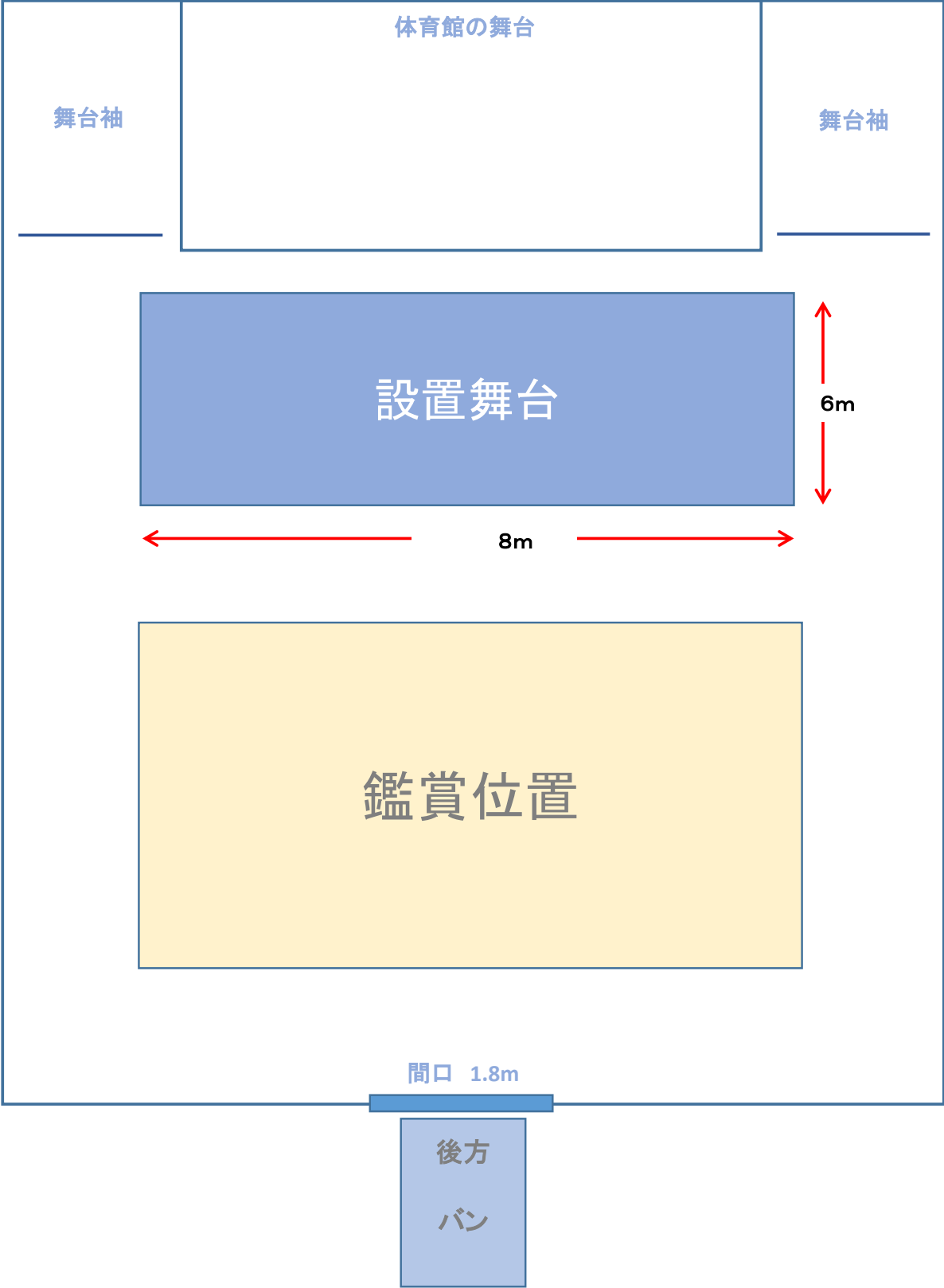
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	438	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	C区分
公演団体名	劇団風の子				制作団体名	有限会社 劇団風の子			

① 会場条件等についての確認

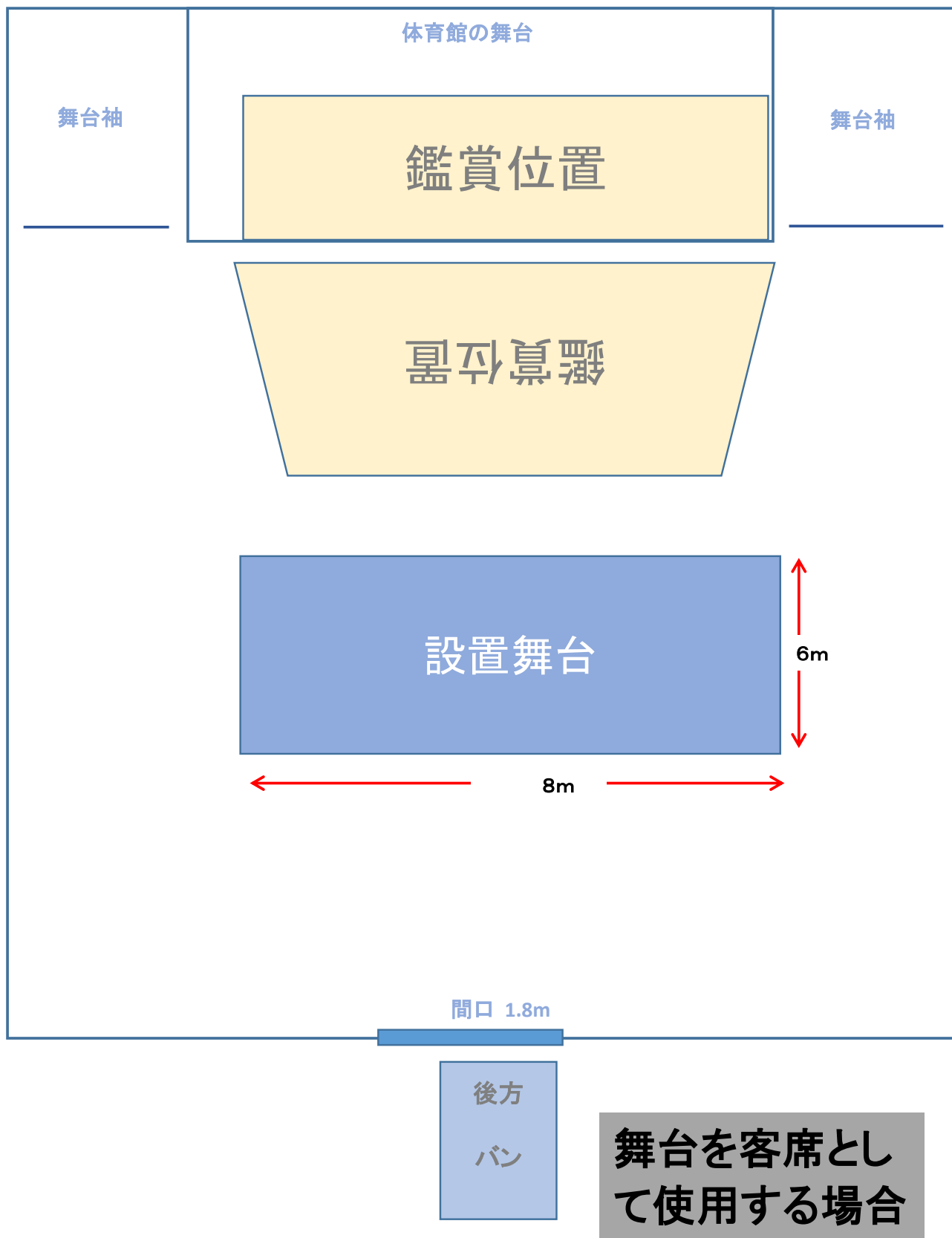
項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数 *	1室	条件		廊下や外から見えないようカーテンがあることが望ましい。体育館内でまかなうことも可。		
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *				バン	1台	
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ				バン		
	可	搬入車両の横づけの要否 *				要		
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *				10m以内		
	可	搬入経路の最低条件				・入口、経路、階段とも幅1.8m以上が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。		
		理由				舞台大道具の搬入をするため		
	可	設置階の制限 *				問わない		
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m		高さ	2.2m	
WSについて	可	参加可能人数			①(作品づくり)最大20人／③(表現遊び)最大20人			
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		なし
	可	所要時間の目安 単位:分			90分(45分×2)			
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイム スケジュール)の目安を御参照ください。			
	可	鑑賞可能人数			150人			
	可	舞台設置場所 *			フロア			
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	8m	奥行	6m	高さ	指定なし
	—	体育館の舞台を使用する 場合の条件		舞台袖スペースの確保 *		不要		
	舞台袖スペースの条件 *							
	緞帳 *			不要	バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	直射日光が入る部分は閉める	
	—	ピアノの調律・移動の要 否		指定位置へのピアノの 移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。	
	ピアノの事前調律 *			不要				
	—	フロアを使用する場合の 条件	バスケットゴールの設 置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			40A	※主幹電源の必要容量		
		その他特記事項						

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2.2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2.2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

ソヒカギリ美術館

ひじょうかん

原案／村井昌世 作／ソヒカギリ美術館製作委員会 構成・演出／大潤弘幸
美術／ナカムラジン 身体表現／若林こうじ 音楽／青柳拓次 制作／浅野井優子



あらすじ

ソノキニ・ナールさんとソノバ・シノギさんはソノヒカギリ美術館の学芸員です。今日はここ、この場所でソノヒカギリ美術館が開かれます。お客さんがやってきました。あら大変、まだ準備中なのです。大慌てで荷解きをする二人。そこに迷い込んできた子ども、アキ。梱包の紙をガサガサしたりビリビリ破ったりしてあそび始め、ナールとシノギはちっとも仕事がかどりません。二人が並べた美術作品さえもアキにとっては格好の遊び相手。

さて、ソノヒカギリ美術館は無事、オープンできるのでしょうか。

ようこそ 美術館へ

美術館と言えば、静かに絵や彫刻など鑑賞する場所というイメージをもつ人が多いと思います。なぜ、そうってしまうのでしょうか？

子どもの頃、泥だんごを作るために泥の中に手をつっ込んだ感覚は大人になってからも忘れません。指と指の間から、ぐにゅとすり抜けていく泥、時に生温かく、時に冷たく、そんな泥を丸めて、丸めて、乾燥させて、磨いて、つるつるの泥だんごにしていく。そんな手の感触に残るような芝居を創ってみたいと思いました。

砂場で子どもたちがいろんなものを創る、そして、それはソノヒカギリ。創っては壊し、創っては壊す。子どもたちの前で劇をするということ自体がソノヒカギリ美術館かもしれません。

構成・演出 大潤弘幸